

平成28年度住宅建築技術高度化・展開推進事業 (住宅建築分野の産業の海外展開の推進に関する事業)

成果報告

住友林業(株)木材建材事業本部は、国土交通省の募集する「平成28年度 補助事業名称:住宅建築技術高度化・展開推進事業(住宅建築分野の産業の海外展開の推進に関する事業のうち住宅整備制度構築に資する技術の提供、住宅整備プロジェクトに対する提案)」事業に応募し、採択を受け、以下の事業を行った。

事業内容

日本の乾式工法、新建材を紹介・導入することで、住宅需要の拡大するインド市場の住宅の進化・住環境の向上に貢献することを目指すもの。建材(ハード)のみならず、日本の工程管理や施工品質管理(ソフト)もインド建築現場を効率化する大きな可能性があり、ノウハウの紹介・導入はインド消費者の負担を軽減すると共に、良質な住宅ストックの蓄積に繋がる。本事業は縮小が見込まれる国内建材市場の中で、海外展開が急務でもある日本の專業系メーカーがチームとなり、日本の技術の海外展開を目指す。

実施体制

【応募企業】住友林業(株)

【参加企業】(株)オンダ製作所、三協立山(株)三協アルミ社、(有)泰成電機工業、凸版印刷(株)吉野石膏(株)、Sumitomo Forestry India Pvt.Ltd.

実施期間

平成28年10月～平成29年2月

インド市場の現状とニーズ

インドの就業人口は2045年までに増加が見込まれ(2010年749百万人→2045年1,014百万人)、今後も長期的な内需の成長が期待される。同時に中間層の形成に伴う消費の成熟と住宅不足により、住宅建設において「均質で短工期の施工技術」「優良なストック住宅」が求められつつある。

検証方法

- ・建材メーカーのインドへの派遣
- ・インド人技術者の日本への派遣

【インド人技術者施工研修】



本事業の成果

インドでの検証の結果、省施工による工期短縮、メンテナンス性の向上、乾式工法の導入、工業製品の導入による住宅性能/品質の安定化、均一化について、現地建築事業者及び消費者にニーズがあることが確認された。上記ニーズに対して日本の乾式壁/床の構成製品、配管、システム浴室、建具、高性能サッシ等の採用はニーズの充足手段として適しており、インドの住宅の進化・住環境向上に貢献するものと判断する。建築事業者から一定の評価を受け、今後の物件における採用の意向を複数フィードバックとして得ることができた。

今後の展望

各種法規制/規格の確認を実施し、トライアル物件の受注による実際の現場での課題抽出が必要となる。また各種現地ニーズに対しての製品の一部改良、又は新規開発が必要な部材に関してはメーカーとの開発に向けた協議へと移る。現地普及に向けたコストダウンのために現地流通品と組み合わせての供給が可能か、現地流通品に関するより詳細な調査、及び試験が必要となる。